

9月26日 「交通安全は、 周囲の様子をよく見ることから始めよう」

早いもので、9月も最後の週となりました。

9月10日には、4年生のプレセカンドスクール、9月22日には、5年生のセカンドスクールが無事に終わりました。どちらの学年も初めての宿泊学習となりましたが、友達と協力しながら、あるいは、友達のことを気遣いながら過ごすことができました。大変立派な姿でした。

さて、今日は、校長先生がお休みのため、代わって副校長先生よりお話をします。

今月、9月21日（水曜）から30日（金曜）までの10日間は、「秋の全国交通安全運動」の期間となっています。

ここで、皆さんにクイズを出します。小学生の交通事故が最も多い時間帯は、いつでしょう。次の3つの中から選んでみてください。

- ① 登校時の7時～9時の間
- ② 放課後の夕方4時～6時の間
- ③ 夜の6時～8時の間

正解は、②の夕方4時～6時の間の事故が一番多く、全体の約30%となっています。

では、どうしたら交通にあわずにすむのか。調べてみると、次の4つのポイントがあることを知りました。

- ① 車が来ていないかをチェック
- ② 車が止まったかをチェック
- ③ 横断中も車をチェック
- ④ 手をあげる、車の方を見る等の動作で道路を横断したい気持ちを伝える

の4つです。また、この場合の「車」は、自動車だけでなく、自転車も含んで考えてみてください。

最初で紹介をしたプレセカンドスクール、セカンドスクールでは、途中、高速道路のサービスエリアでトイレ休憩をとりました。多くの自動車が出入りする場所ですが、周囲をよく見ながら行動することができていたから、誰も危険な思いをすることはありませんでした。

安全に生活をするためには、周囲の様子をよく見ることが大切です。登下校で道を歩くとき、横に広がって歩いたり、飛び出したりしていませんか。みんなでする場所は、みんなが使いやすいように気を配って使いたいと思います。

今日は、「交通安全は、周囲の様子をよく見ることから始めよう」というお話でした。これでお話を終わります。